

〔科目名〕 組織学習論				〔単位数〕 2 単位		〔科目区分〕 専門科目 展開科目	
〔担当者〕 長谷川直樹		〔オフィス・アワー〕 時間:授業内で案内します。 場所:501 研究室				〔授業の方法〕 講義	
〔科目の概要〕 組織学習論は、1960 年代から研究が開始された比較的新しい学問領域です。 組織社会と呼ばれる現代において、個人の学習、成長だけでなく、組織も学習し成長する必要があります。組織が存続し発展するために、協働を確立し組織の知識をマネジメントすることが組織学習である。組織の体系的な発展を促進する方法が組織学習論になります。特に、日本の組織は生産性が低いことが問題となっている。組織学習は、組織を適切に機能させる組織マネジメント手法の一つである。 授業は、教科書を用いて学修していきます。教科書の中で取り上げられる組織学習論に関するいくつかの主要理論については、より詳しく説明します。授業方法は、講義だけでなく、グループ・ディスカッションも行います。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 組織学習論は、組織論の一分野です。組織論と関連して、働く人々の協働の確立とその成果の効率的にすることが組織学習になります。今後、組織で働く人にとって学ぶべき分野です。 組織学習論は、組織を対象とした学問であるマネジメント論や経営戦略論などと関連を有しています。							
〔科目の到達目標〕 組織学習論の研究潮流を体系的に理解し、説明できるようになる。 組織学習論の主要理論について理解し、自分なりの考えを示すことができるようになる。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4 ○	DP1	DP2 ○	DP3	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕							
〔教科書〕 安藤史江『コア・テキスト組織学習』、新世社、2019 年。							
〔指定図書〕							
〔参考書〕 ハーバート・サイモン『経営行動－経営組織における意思決定過程の研究』、ダイヤモンド社、2009年。 マーチ&サイモン『オーガニゼーションズ』、ダイヤモンド社、2014年。 マーチ&オルセン『組織におけるあいまいさと決定』、有斐閣、1986年。 野中&竹内『知識創造企業』、東洋経済新報社、2020年。							

〔前提科目〕 組織論	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 学期末試験の結果(60%) 課題(小テスト・レポート・リアクションペーパー)(40%) 学期末試験の内容等については、試験前の授業時に説明します。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 関連用語について調べる(事前学習)。 授業に出席し、ノートを取る(授業中)。グループワークの際は、積極的に参加(発言)すること。 授業後に200字程度の要約を作ること(事後学習)。	
〔実務経歴〕 該当なし。	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 内 容: 講義の進め方について説明する。講義の内容、目的について説明する。評価方法について説明します。 教科書・指定図書: 教員が作成したスライド・プリントを用いて講義を行います。
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 組織学習論を学ぶ 内 容: 組織学習の定義について説明します。 教科書・指定図書: 『コア・テキスト組織学習』第 1 章
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): カーネギー学派の組織行動論 内 容: サイモン&マーチを中心としたカーネギー学派の組織行動論について説明します。 教科書・指定図書: 教員が作成したスライド・プリントを用いて講義を行います。
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): サイクルで捉える組織学習 内 容: マーチを中心とした組織学習のサイクルについて説明します。 教科書・指定図書: 『コア・テキスト組織学習』第 2 章
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 組織学習のメカニズム 内 容: 組織の学習効果を高める方法と、学習活動に伴うジレンマについて説明します。 教科書・指定図書: 『コア・テキスト組織学習』第 3 章 4 章
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 学習のジレンマを克服するために(1) 内 容: クリス・アージリスのダブル・ループ学習について説明します。 教科書・指定図書: 『コア・テキスト組織学習』第 5 章

第 7 回	テーマ(何を学ぶか):学習のジレンマを克服するために(2) 内 容:ジェームズ・マーチの知の活用・知の探索について説明します。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 5 章
第 8 回	テーマ(何を学ぶか):個人の学習とメンター 内 容:個人の学習とマネジメントについてアブラハム・ザレズニックの理論を中心に説明します。 教科書・指定図書:教員が作成したスライド・プリントを用いて講義を行います。
第 9 回	テーマ(何を学ぶか):情報収集の役割としてのマネジャー 内 容:ヘンリー・ミンツバーグの管理者行動論について説明します。 教科書・指定図書:教員が作成したスライド・プリントを用いて講義を行います。
第 10 回	テーマ(何を学ぶか):知識創造 内 容:野中&竹内の SECI モデルについて説明します。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 6 章、第 7 章、第 8 章、第 9 章
第 11 回	テーマ(何を学ぶか):知識の獲得 内 容:経験と密接な関係がある知識の獲得について説明します。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 6 章
第 12 回	テーマ(何を学ぶか):知識の移転 内 容:個人学習が組織学習になる移転について説明します。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 7 章
第 13 回	テーマ(何を学ぶか):情報の解釈 内 容:情報解釈のシステムについて説明します。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 8 章
第 14 回	テーマ(何を学ぶか):組織の記憶 内 容:組織の記憶について説明します。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 9 章
第 15 回	テーマ(何を学ぶか):組織学習のこれからと全体のまとめ 内 容:今後の組織学習論の展開について説明します。これまでの講義で重要な点を整理します。期末テストの説明をします。 教科書・指定図書:『コア・テキスト組織学習』第 10 章
試 験	期末テストを行います。